

## 授業の具体的展開例

号外の例

## 意欲的に取り組む題材や指導の工夫

新聞記事（号外）の配付  
身近に感じられる題材を記事にする

CLICK

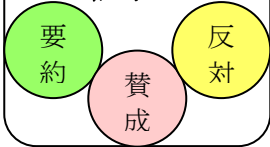
それぞれの記事に対して各自意見を書く

グループ内で意見を交流し合う  
(記事や役割分担を決める)

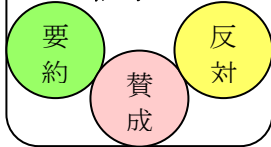
【3グループ】

【3グループ】

記事A



記事B

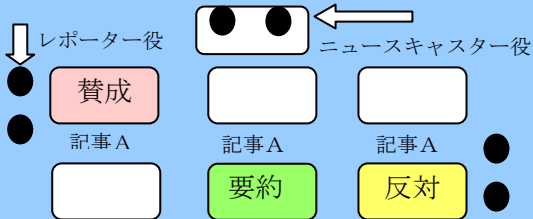


グループで意見をまとめて書く(英文作成)  
発表の役割分担を考える

発表の準備(内容理解を助ける工夫)  
例: 絵、写真、ジェスチャー

発表(ニュース番組の設定)

【教室内の配置】(●はニュースキャスター  
及びレポーター役)



※ メインキャスターがTVでニュースを伝えるように記事を読み、それについての賛否を中継でインタビューするという設定で行う。

※ 全員が発表する。(2回の発表)

- ① 質疑応答をする
- ② 自分の意見をもつ  
(ワークシートにまとめる時間)
- ③ 全体で意見を交流する  
(役割分担された立場にとらわれない)

振り返り

グループ発表やその後の意見交流を参考にして記事A・B共に自分の意見を書く。

前時の展開

本時の展開

- 生徒にとって身近に感じられる題材  
(例: 町に空港設置! / 携帯電話の15歳以下使用禁止! / 新しい制服の導入!)
- 意見をもつまでのていねいな指導の流れ  
自分の意見(理由は日本語でもよい) → グループで英文作成 → 伝えたい気持ちを高めて発表 → 各自の意見(英語) → 学級で共有

## 「活用」の力を育てる評価の視点

教科書の題材で学習した後、別題材で意見を述べる機会を設定し、この単元を通して学んだことを活用させたい。

そのために、題材を生徒の身近な話題にすること、発表場面をTV番組という設定にすること、グループ学習を取り入れることなどの工夫を行う。

「活用」の力を評価する具体的な視点としては、以下が考えられる。

- ① 要約・賛否の立場に応じた英文を理由を含めて書くことができる。
- ② 発表を聞いてその場で自分の意見を表現することができる。
- ③ 伝えたい内容が明確であり、伝えるための工夫をしている。

## ニュースキャスター及びレポーター役の表現例

ニュースキャスター

Hello, everyone. ○○ News Station.  
I'm ○○.  
Headline News. ....  
Now, let's ask some students about this.  
○○, please.

レポーター

Hello, everyone. I'm ○○. Today I'm here in ... I'm going to ask some students about ...  
Excuse me.  
① What do you think of this news?  
② Do you think that ....?  
.....  
Thank you.

HOME

本時の流れへ

評価問題

CLICK